

三十三番、御池

「参るより 恵みも 深き
おん池の 池のはちす葉
我を 待つらん」

曹洞宗 羽黒山 西光寺 住職住
会津坂下町字大字御池田字寺ノ前一五二
本尊 聖観世音
駐車場 あり
トイレ なし

天正元年（一五七三）会津若松市東山町の天寧寺から春広という僧が来て、集落の北に開基します。その後、寛文（一六六一〜一七三）頃には、僧の重海が小庵を営みますが、享保八年（一七二三）、僧の郭瑞が現在地に移します。本尊の聖観音座像は、七寸八分で、昔、池の中から見つかったものだといふ。



三十三番札所です。「池の蓮は」は「池の蓮葉」が正しい。

番外二、柳津

「柳津は 岩にそびえて
かけ造り 前には
只見の 舟の浮橋」

臨済宗 靈巖山 円蔵寺 住職住
柳津町大字柳津字寺家町甲一七六
本尊 聖観世音
駐車場 あり
トイレ あり

柳津の虚空蔵堂として知られています。大同二年（八〇七）に徳一により創建されます。慶長一六年（一六一一）の慶長会津大地震で倒壊し、再建されます。現在の堂は、その後火災で焼失し安永五年（一七七六）に再建されたものです。「赤べこ」は、元和三年（一六一七）に堂が再建された時、只見川から材木を運んで活躍した「赤牛」がもとになっています。



堂内撮影禁止です。静かに参拝しましょう。「赤べこ」発祥の地です。観音像は、本堂を外に出て西から裏に回った場所にあります。

番外三、鳥追

「かねこわき 山の如きの
のりの寺 まこと だい悲の
浄土なるらん」

真言宗 金剛山 如法寺 住職住
西会津町野沢字如法寺乙三五三三
本尊 聖観世音
駐車場 あり
トイレ あり

県指定文化財
大同二年（八〇七）徳一により建立されという。堂は、慶長十六年（一六一三）の慶長会津大地震で倒壊し、慶長十八年（一六一五）蒲生忠郷により再建されました。東口の三猿と西口の梅に鶯の彫刻を見つけると願いが叶うとされています。ころり観音のひとつ。北側に蕎麦屋があります。



堂ここから奥に車で10分行くと「大山祇神社」があります。「会津ころり三観音の一つ」

